

提供日 2016/7/22
 タイトル 全国大会詳細決定
 担当 伊豆半島ジオパーク推進協議会事務局 小柴
 連絡先 TEL 0558-72-0520
 MAIL info@izugeopark.org FAX 0558-72-1355



ジオ全国大会の詳細決定

分科会、ツアーは過去最多に

伊豆半島ジオパーク推進協議会は 22 日、今年 10 月 10～12 日にプラサヴェルデ(沼津駅北口)を主会場に開催される第 7 回日本ジオパーク伊豆半島大会の詳細な日程を決め、参加者の募集を始めました。大会は「連携が生み出す未来」をテーマとし、開会式に続いて 13 の分科会で保全、教育、防災などについて論議を深めます。さらに 11 日午後の閉会式終了後、伊豆半島各地や箱根ジオパークなど 11 のジオツアーを一泊二日で実施します。

大会には全国のジオパーク関係者約 1000 人が参加し、うち 400 人以上がツアーに参加する見込みです。分科会、ジオツアーの数は過去最多。これまでは昨年霧島大会の 9 分科会、9 ツアーが最多でした。

10 日は、午後 1 時からの開会セレモニーに続いて巽好幸神戸大学海洋底探査センター長が基調講演。全国のジオパーク所在地の市町村長セッションをはじめとする分科会を行います。並行して、高校生や各ジオパークがポスター発表。午後 7 時 30 分から大交流会を開催します。

翌 11 日は、引き続き分科会を開催。閉会式後、ジオツアーに出発します。このうち、熱海・真鶴と清水・箱根の両ツアーは箱根ジオパークとの共同企画となります。

大会参加費は 3,000 円。大交流会、ジオツアーなどには別途参加料が必要。詳細については、特設サイト <http://7th-jgn-izu-peninsula.jimdo.com/> をご覧ください。大会取材要領については、10 月初めまでにご案内します。

【主な大会プログラム】○は一般参加・見学が可能。●は事前に大会参加登録が必要。

10 日	9:00～19:00	○ポスターセッション
	10:00～11:30	○特別講演「日本百名山ひと筆書き」田中陽希氏
	10:00～17:00	○物産・グルメ・企業ブース展示
	13:00～14:00	○開会セレモニー
	14:00～15:20	○基調講演「列島からの恩恵、大陸誕生の謎を伊豆から考える」巽好幸氏
	15:35～16:50	市町村長セッション
	17:00～18:20	●分科会
	19:30～21:30	●大交流会
11 日	9:00～15:00	○ポスターセッション
	9:00～12:00	●分科会
	13:00～14:30	●閉会式
	15:30～	●ジオツアー出発(12 日まで)

【13 分科会のテーマ】

- ① 市町村長セッション
- ② 溶岩と湧水の里でジオパークの保全を考えよう
- ③ これからのジオパーク教育と ESD(持続可能な発展のための教育)
- ④ 防災「ジオパークを防災に役立てるために」
- ⑤ ガイド①「ガイドスキルを上げるための情報交換会」
- ⑥ ガイド②「ガイド養成と組織のマネジメント」
- ⑦ ガイド③「ビジネスを実践するための情報交換会」
- ⑧ ジオパークとユニバーサルデザイン
- ⑨ ジオツーリズムと観光
- ⑩ 国際交流・国際貢献
- ⑪ ジオパーク ABC
- ⑫ ジオカフェ「ジオパークにおける連携」
- ⑬ ジオストーリー

【11 ジオツアー】

宿泊地	タイトル	主な訪問地
熱海	ようこそブラアタミの世界へ！	伊豆山神社、走り湯、城願寺
伊東	ようこそ海ジオの世界へ	小学生による城ヶ崎海岸ガイド、シュノケーリング、大室山
東伊豆	川端康成の名作「伊豆の踊子」の道をたどる	細野高原、福田家、天城越え
下田	伊豆下田で岬めぐり	爪木崎、ペリーロード、河津七滝
南伊豆	伊豆半島最南端の秘境で冒険	石丁場、シーカヤック
松崎	クルーザーで絶景探索の旅	クルーズ、室岩洞
西伊豆	キラキラの秘密を探しに	珪石鉱床、黄金崎、土肥金山
伊豆	天城山 八丁池トレッキングツアー	ジオリア、八丁池
伊豆の国	深海魚との遭遇	大瀬崎、戸田、葎山反射炉
函南	断層と酪農の里を訪ねる	三嶋大社、断層公園、火雷神社
清水	富士山噴火の痕跡と箱根カルデラの雄大なパノラマを満喫!!	鮎壺の滝、柿田川、芦ノ湖、箱根関所

以上